

早稲田の杜金管合奏団 衣川中学校 特別演奏会



2022年11月4日（金）開演 14:00 衣川中学校

Part1

バレエ「シルヴィア」より『バッカスの行列』
ピアノ・フォルテのソナタ
歌劇「アイダ」より抜粋

L. ドリーブ作曲 山瀬幸雄編曲
G. ガブリエリ作曲
J. ヴェルディ作曲 山瀬幸雄編曲

Part2

フロレンティナー・マーチ
ムーンライト・セレナーデ
A列車で行こう
ミュージカル「キャッツ」より『メモリー』
トロンボーン・アンサンブル「上を向いて歩こう」
たなばた

J. フチーク作曲
グレン・ミラー作曲
B. ストレイホーン作曲 大橋晃一編曲
A. L. ウエッバー作曲
中村八大作曲 金山徹編曲
酒井格作曲 山瀬幸雄編曲

主催：衣川中学校、衣川地区振興会、
「早稲田の杜金管合奏団」特別演奏会実行委員会
後援：胆江稲門会（胆江地区早稲田大学 OB 会）
協力：衣川中学校吹奏楽部

Part 1

バレエ「シルヴィア」より「バッカスの行列」 (L.ドリーブ作曲 山瀬幸雄編曲)

バレエ「シルヴィア」は、ギリシャ神話の女神ディアナに仕えるニンフ「シルヴィア」と羊飼いの青年「アミンタ」の恋物語を題材にしたバレエです。「バッカスの行列」は、その第3幕、村人たちが酒の神バッカスを讃美する場面の音楽です。トランペットとトロンボーンファンファーレで始まり、次々に踊りの音楽が展開していきます。

ピアノ・フォルテのソナタ (G.カプリエリ作曲)

16世紀にヴェネツィアで生まれた作曲家ジョヴァンニ・ガブリエリの書いた曲で、2つのグループのピアノとフォルテのかけあいで曲が進行しますが、強弱法を用いた最初の作品とも言われています。元々はトランペットとトロンボーンだけの編成ですが、今回はホルンやチューバ、ユーフォoniumも入った編成で演奏します。

歌劇「アイーダ」より抜粋 (J.ヴェルディ作曲 山瀬幸雄編曲)

歌劇「アイーダ」は数々の歌劇を残したヴェルディの作品の中でも最も有名な作品で、エチオピアの王女アイーダとエジプトの将軍ラダメスの悲恋物語です。当団の編曲者山瀬幸雄が有名なアリアと管弦楽の部分を抜粋して編曲しました。

凱行進曲～イシスの神に栄光あれ～神官の行列～戦いの賛歌～我らの命を助けよ～地上への別れ～エジプト行進曲

Part 2

フロレンティナー・マーチ (J.フチーク作曲)

チェコの作曲家ユリウス・フチークの書いた行進曲。フチークは軍楽隊の指揮者でもあったため、多くの作品は軍楽隊のために書かれています。この「フロレンティナー・マーチ」の他にも「剣士の入場」など多くの行進曲を作曲していることから、「ボヘミアのスーズ」とも言われています。

ムーンライト・セレナーデ (グレン・ミラー作曲)

1939年にトロンボーン奏者のグレン・ミラーにより作曲されたスウィング・ジャズの代表曲の1つであり、グレン・ミラー・オーケストラのテーマ・ミュージックです。

A列車で行こう (ストレイホーン作曲)

1953年にビリー・ストレイホーンが書いた、デューク・エリントン・オーケストラの代表曲で、1958年にジョニー・マーサーが詩をつけています。親しみやすいメロディーが展開し、世界中で人気があるビッグバンド・ジャズの名曲です。

ミュージカル「キャッツ」より「メモリー」(A.L.ウェッバー作曲)

1981年にロンドンで初演され、ブロードウェイでもロングランの記録を作り、日本でも劇団四季によって長年上演されているミュージカルの名作「キャッツ」の代表的なナンバーです。

トロンボーン・アンサンブル「上を向いて歩こう」(中村八大作曲 金山徹編曲、天明昭男編集)

1961年、作詞/永六輔、作曲/中村八大、歌唱/坂本九の、いわゆる六八九トリオの代表曲です。日本でのヒットはもちろんのこと、アメリカでは「SUKIYAKI」のタイトルで3週連続1位、オーストラリアやノルウェーでも1位を獲得するなど、世界的な大ヒットとなりました。

たなばた(酒井格作曲 山瀬幸雄編曲)

酒井格(いたる)の第一作で代表曲です。彼が作曲したのは18歳、高校3年生の年でした。当時現役のブラスバンド部員であったためか、吹奏楽の名曲のフレーズがちりばめられています。

早稲田の杜金管合奏団 The Waseda Brass

Conductor 中島章博

Trumpet 磯崎直人 大内仁 楫野敏正 北村和弘(コンサートマスター) 久保正彰(司会)
武内昌徳 坪井賢一 山瀬幸雄 佐藤淳文(賛助)

Flugelhorn 磯崎直人 大内仁 坪井賢一 山瀬幸雄

Horn 川俣裕章 高橋正幸 塚田義昌 辻村憲治 矢澤元 吉井由希子 渡辺勇次

Trombone 内田憲一(代表) 小倉啓美 加藤寛基 白土英治 天明昭男 原田京一

Euphonium 石坂匡史

Tuba 今泉康弘 駒形正人

Percussion 小田崇史 田中厚 野田俊也 三浦明子 渡辺裕子

Orchestration 山瀬幸雄 天明昭男

Librarian 大内仁

◆早稲田の杜金管合奏団について

早稲田の杜金管合奏団は、1970年代後半に早稲田大学交響楽団に在籍したOBを中心に、2000年に結成されました。オーケストラで使用される金管楽器と打楽器で構成されます。2011年、2013年、2015年、2017年、2019年に続き、震災からの復興を祈念し、合わせて奥州市のみなさと金管合奏の楽しみを分かち合いたいと思います。ご来場、ありがとうございました。

中島 章博（指揮者）

早稲田大学理工学部、東京大学工学系研究科博士前期課程を経て同後期課程へ進学した後、2007年よりオーストリア共和国立ザルツブルク・モーツァルテウム大学指揮科に留学。2010年に帰国後、博士後期課程を修了し建築音響工学の分野で博士（工学）を取得。2019年、第2回CITTA' DI BRESCIA GIANCARLO FACCHINETTI 指揮コンクールセミファイナリスト。指揮を故クルト・レーデル、デニス・ラッセル・デイヴィス、ホルヘ・ロッター、曾我大介、シメオン・ピロンコフの各氏に、フルートを湯川和雄、岩佐和弘の両氏に師事。これまでに日本はもとより、オーストリア、チェコ、リトアニア、エストニア、ブルガリア等で各国のオーケストラを指揮する。近年は作曲・編曲活動にも力を入れており、テレビアニメやCMへの楽曲提供、各オーケストラへ編曲作品の提供を行うと共に、自作のオーケストラ作品も積極的に指揮している。また、TBSテレビ「マツコの知らない世界」にて奏者として加わったマツコ・デラックス氏と共演したほか、乃木坂46「羽根の記憶」のミュージックビデオ、日本テレビ製作のドラマ「ボク、運命の人です」等、メディアへの出演も多い。2021年度ズーラシアンブラスお友達プレイヤー（指揮）。早稲田の杜金管合奏団は2006年～12年マレーシア演奏旅行、2011、13、15、17年岩手県演奏旅行、2016、18年ロシア演奏旅行、2007年以降の定期演奏会など、各種演奏会で指揮している。